

平成30年度事業計画書

テーマ：地域力のサポートを行うために、地域住民との連携強化を図り、介護、医療、保健、福祉のネットワーク体制を整える

サブテーマ：地域に親しまれる、ぬくもりのある施設を目指す

部署名：白楽荘

取組目標	達成目標	具体的計画
利用者が安楽に生活でき家族も安心できる施設として安定したサービスを提供する	①サービス提供時の事故防止に努める	・事故防止委員会での危険予知訓練や毎月の反省の中で情報を周知、確認する。
	②利用者、家族との信頼関係を築く	・家族へ必要な報告は適時行う。 ・責任者や介護職評価者の指導により、接遇の維持、介護力の底上げを行う。
	③職員が不足している現状、昨年度と同様に応援体制を構築しチーム間、多職種協働でサービスを提供する	・勤務作成時に応援が必要なチーム、応援可能なチームを把握し、相談員、ケアマネも含め連携を図る。
	④三国高校や養成学校との連絡を密にし、人材確保に繋げる	・実習生の受け入れを積極的に行い、施設の求人状況や概要を先生生徒に説明し採用に繋げる。
	⑤外国人実習生への支援と継続	・ボランティアを呼掛け、職員やお年寄りとふれ合う機会を作る。 ・継続雇用者の役割の明確化と

取組目標	達成目標	具体的計画
	雇用者が務めやすい環境を整える	<p>定期的な面談により、心身状態の確認を行う。</p> <p>・ベトナム人実習生を迎えるにあたり、職員が丁寧に指導していけるよう説明、理解する場を設ける。</p>
職員が支え合い、協調性のある職場環境を整え、共に成長できる施設を目指す	<p>①職員一人一人の体調面や精神面について役職者が配慮し、不安なく仕事ができる</p> <p>②サービスの実施目的と理解を図る</p>	<p>・仕事の姿勢や表情を観察し、業務内容に片寄りや無理がないかを判断し、業務を分担する。</p> <p>・必要に応じて面談し、抱えている問題や不安を解消する。</p> <p>・前年度同様にケアプラン委員会を2ヶ月に一度実施し、アセスメント、モニタリング、認定調査、ケース記録など学ぶ機会を作ると共にPDCAサイクルの理解を図る。</p> <p>・職員の入退職が多くなっている為ケアにずれや思い違いがないか確認し、チーム間でケアの統一を行う。</p> <p>・より詳しく認知症をチームで学習しチームケアの向上を目指す。</p>